## 笑顔が輝く舞台！ 幼稚園年少・年中組発表会

醸芳幼稚園年少・年中組の発表会が2月19日、同園で行われました。園児たちは、劇や楽器演奏、歌、ダンスなど一生懸命に楽しみながら練習の成果を披露しました。

広　告



## 健 全国大会出場激励金贈呈 闘を祈り激励

第44回全国高等学校ソフトボール選抜大会出場が決まった渡邉蓮斗さん（郡山北工業高校）への激励金贈呈式が3月16日、役場で行われました。

激励金を贈呈した佐藤教育長は「持てる力を存分に出し切り、さらなる活躍を期待しています」と激励しました。激励金を受け取った渡邉さんは「優勝を目指して元気にプレーしたい」と意気込みを語りました。

▲佐藤教育長から激励金を受け取り大会への意気込みを語る渡邉さん（左）

## 春 旧伊達郡役所のひな人形を見学 の訪れを告げるひな飾りに歓声

旧伊達郡役所では、2月20日から3月15日まで「郡役所フォトスポット～雛まつり編～」と題したひなまつりイベントを行い、旧面接室に飾られたひな人形やつるしびなが来館者の目を楽しませました。期間限定で飾られたひな人形を一目見ようと、醸芳幼稚園年少組のみなさんが3月10日、旧伊達郡役所を訪れました。園児らは、自分たちの背丈よりもはるかに高い段飾りや、さまざまなデザインのつるしびなを眺め、「幼稚園にあるのとは違う！」「牛もいる～」「桃だ！」などと声を弾ませながら、趣のある部屋にたたずむ優美な飾りを楽しみました。

▲ひな人形やつるしびなを見て友達と感想を言い合う園児のみなさん

## 桑 英国人収集家が読み解く香村工芸のこけしの魅力 折から世界へ、こけしが語るアート

日本の伝統こけし・創作こけしを世界へ発信するイギリス人収集家、アリステア・アレンさんが3月6日、香村工芸を訪れるために来日しました。十代のころからアートスクールで美術を学びはじめたアレンさんは、各国の土産品を研究する中で日本のこけしと出会い、土産品として扱われていたこけしに高いアート性を見いだしました。以来、独自に収集・研究を続け、その魅力を世界へ伝えています。中でも香村工芸が手掛ける創作こけしを愛好し、オークションなどで集めたコレクションは現在56体にも及びます。今回は、魅力あるこけしが生まれる現場を確かめ、制作の背景を知りたいとの思いから来日されました。

アレンさん（左）と佐藤さん

リニューアルされた工房

当日は、香村工芸の佐藤義光さんをはじめ、制作に携わるご家族が工房で出迎え、展示作品を鑑賞しながら交流を深めました。アレンさんは、作品一つ一つへの熱い思いを語り、特徴や独自に分析した見どころを丁寧に解説。さらに、作品の生みの親である佐藤義光さんの母・佐藤香村さんが、当時どのような思いでこけしと向き合っていたのかを、アレンさんならではの視点で語る場面もありました。アレンさんは「過去から学び、未来へつなぐ、そのつながりを大切にしたい。捨てられてしまう工芸品を集め、保存し、アートとして未来に語り継いでいきたい。帰国後は、香村工芸のこけしの魅力をさらに発信し、より多くの人に愛されていくことを望む。私の心はこけしとともにある」と語りました。桑折町で生まれ、受け継がれてきた伝統、思い、手仕事の魅力が国境を越えて広がっています。